

2011年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2010年9月27日

上場会社名 株式会社サンデー 上場取引所 JQ
 コード番号 7450 URL <http://www.sunday.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 直行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 成澤 真一 TEL (0178) 47-8511
 四半期報告書提出予定日 2010年10月1日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2011年2月期第2四半期の連結業績 (2010年2月21日～2010年8月20日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2011年2月期第2四半期	24,526	5.2	180	667.1	43	-	9	-
2010年2月期第2四半期	25,875	6.8	23	-	27	-	106	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2011年2月期第2四半期	0	89	-	-
2010年2月期第2四半期	9	92	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
2011年2月期第2四半期	30,512	7,112	7,112	23.3	661	03		
2010年2月期	31,703	7,121	7,121	22.5	661	90		

(参考) 自己資本 2011年2月期第2四半期 7,112百万円 2010年2月期 7,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2010年2月期	-	0	00	-	0	00
2011年2月期	-	0	00	-	-	-
2011年2月期(予想)	-	0	00	0	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 2011年2月期の連結業績予想 (2010年2月21日～2011年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	48,200	2.1	360	-	220	-	140	-	13	01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動： 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更： 有

以外の変更： 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	2011年2月期2Q	10,764,700株	2010年2月期	10,764,700株
期末自己株式数	2011年2月期2Q	5,181株	2010年2月期	5,161株
期中平均株式数（四半期累計）	2011年2月期2Q	10,759,523株	2010年2月期2Q	10,759,905株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因によって実際の業績と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等につきましては、[添付資料] P. 2「連結業績に関する定性的情報」を参照ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第 2 四半期連結累計期間)	6
(第 2 四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における東北地域の経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、デフレの継続、株価の低迷など将来の不安が解消せず、厳しい雇用状況や慎重な設備投資状況等もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

第1四半期は、春先に気温の低下や降雪に見舞われ、主力商品の園芸、生花などの春物商材の出足が遅れ、関連商品(資材等)の販売も大きく落ち込みました。第2四半期は、天候の回復とともに園芸用品などが順調に推移いたしました。特に8月は、記録的な猛暑により、夏物商品を中心に盛り返しました。また、年間でも売上が大きなお盆商戦は、高速道路の一部無料化と土日みの限定割引により帰省とUターン時期が週末に集中し、客数が減少いたしました。

このような経営環境の下、お客さまの生活応援に向けてイオンのプライベートブランド「トップバリュ」商品やお買得価格でご提供する選抜特価「とびきり価格」など低価格への取組みによる生活応援をしております。また、当社は、マイカード会員様への取組みといたしまして「お客さま感謝デー」や月1回の「ビッグサンデー」企画の販促強化をしております。

売上高につきましては、第1四半期が既存店前年同期比92.3%となり、この影響で当第2四半期連結累計期間売上高は計画を下回りましたが、第2四半期は天候の回復とともに園芸用品などが順調に推移し、既存店前年同期比98.4%まで回復いたしました。また、8月は記録的な猛暑により夏物商品が計画販売数を上回り、既存店前年同期比99.9%まで盛り返しました。一品単価は、既存店前年同期比99.2%と下回ったものの、売場作りの改善により、一人当たり買い上げ点数は既存店前年同期比101.2%となり、客単価は既存店前年同期比100.4%となりました。

商品別では、第1四半期に出遅れていた園芸用品が回復し、猛暑の影響による除草剤・刈払機・散水用品や住宅設備の網戸や水道用品、戦略的に取り組んだステーションナリーの事務用品やインク、食品ギフトやドリンクが好調に推移し、お盆の切花も前年を大きく上回りました。また、シャワートイレ取付け無料キャンペーンでは、2日間で118台を販売するなどリフォーム需要にも対応いたしました。

当社グループの店舗数は、(株)サンデーのホームセンター46店舗、イオンスーパーセンター(株)へのコンセッションリー参画15店舗、子会社の(株)ジョイ19店舗で合計80店舗となっており、店舗の活性化につきましては、(株)サンデーが久慈中の橋店、八戸長苗代店、八戸新井田店、八戸沼館店、八戸根城店、青森浜田店の6店舗、(株)ジョイが白山店、西米沢店の2店舗を改装いたしました。

このような営業施策を行った結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、既存店前年同期比が94.9%と前年を下回り、245億26百万円となりました。売上総利益高は、売上高減少により計画を下回りましたが、「トップバリュ」商品拡販や定番棚割りの見直しなどにより0.6ポイントの荒利益率改善ができたこと、販売費及び一般管理費は、人件費・販売促進費・設備費・一般費ともに徹底したコントロールで前年同期に対し3億56百万円の削減ができたことから、営業利益は1億80百万円(前年同期より1億56百万円の改善)、経常利益は、安定的な資金調達を目的としたシンジケートローンの手数料を営業外費用として一括計上したものの、43百万円の黒字(前年同期より71百万円の改善)を確保できました。四半期純損失は、特別損失の役員退職慰労金など35百万円を計上し、9百万円(前年同期より1億16百万円の悪化)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、在庫削減による商品及び製品の減少8億円や、減価償却による有形固定資産の減少1億71百万円及び差入保証金の回収などによる投資その他の資産の減少1億69百万円などにより、前連結会計年度末に対して11億91百万円減少し305億12百万円となりました。

負債については支払手形及び買掛金が13億44百万円の減少、短期借入金が36億53百万円の減少、長期借入金が42億7百万円の増加などにより、前連結会計年度末に対して11億81百万円減少し234億円となりました。

純資産については四半期純損失9百万円の計上により9百万円減少し71億12百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末残高に比べ31百万円増加し、9億34百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は当第2四半期連結累計期間においては4億43百万円(前年同期は12億39百万円の取得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13百万円に加え、減価償却費3億60百万円、たな卸資産の減少額7億91百万円、仕入債務の減少額13億44百万円等によるものであります。なお、金融機関の休日のため前連結会計年度末において未決済の受取手形、支払手形が決済されていたものと仮定すると当第2四半期連結累計期間に

おける営業活動によるキャッシュ・フローは9億60百万円の資金の取得となります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は3百万円(前年同期は62百万円の取得)となりました。これは主に改装などに伴なう有形固定資産の取得による支出1億44百万円、差入保証金の回収による収入57百万円、貸付金の回収による収入92百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は4億78百万円となりました。これは主に短期借入金の純減額39億7千万円、長期借入金の借入による取得58億円、長期借入金の返済による支出12億76百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も厳しい経済環境が続くことを想定し、ローコスト経営を定着させ、エリア別競合店対策の強化やスーパーバイザー指導による売場展開力の強化で売上高確保に取り組んでまいります。また、商品在庫管理の徹底による在庫削減、及び、不明ロスと売価変更の削減により粗利益率の改善を図るとともに、更なる経費削減に努めてまいります。

以上により、通期業績予想につきましては、2010年4月6日に公表しました2011年2月期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法により算出しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表)

「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)の適用に伴い、前第2四半期連結会計期間において「商品」及び流動資産の「その他」に含めていた「貯蔵品」は、当第2四半期連結会計期間は「商品及び製品」、「原材料及び貯蔵品」に区分掲記しております。なお、前第2四半期連結会計期間の「商品」に含まれる「商品及び製品」、流動資産の「その他」に含まれる「貯蔵品」の「原材料及び貯蔵品」は、それぞれ9,795,032千円、91,043千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,049,358	1,017,912
受取手形及び売掛金	393,565	449,210
商品及び製品	8,992,652	9,793,543
原材料及び貯蔵品	90,219	80,357
その他	495,159	493,521
貸倒引当金	110	110
流動資産合計	11,020,845	11,834,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,694,484	7,922,067
機械装置及び運搬具(純額)	28,390	32,145
土地	8,534,616	8,534,616
リース資産(純額)	38,157	17,912
建設仮勘定	1,358	900
その他(純額)	174,111	134,759
有形固定資産合計	16,471,118	16,642,401
無形固定資産		
のれん	102,032	119,179
その他	141,401	161,533
無形固定資産合計	243,433	280,713
投資その他の資産		
投資有価証券	111,128	114,722
長期貸付金	968,822	1,056,694
差入保証金	1,369,424	1,422,049
その他	356,335	381,630
貸倒引当金	28,552	28,852
投資その他の資産合計	2,777,158	2,946,244
固定資産合計	19,491,710	19,869,359
資産合計	30,512,555	31,703,794

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,128,440	8,473,085
短期借入金	5,108,676	8,762,392
未払法人税等	45,657	68,398
賞与引当金	4,166	6,249
店舗閉鎖損失引当金	24,456	24,456
ポイント引当金	147,931	144,280
リース資産減損勘定	20,092	22,218
その他	1,019,593	1,331,015
流動負債合計	13,499,012	18,832,094
固定負債		
長期借入金	8,897,348	4,690,144
退職給付引当金	481,331	446,676
債務保証損失引当金	60,380	62,144
役員退職慰労引当金	12,914	81,118
店舗閉鎖損失引当金	92,832	105,188
長期リース資産減損勘定	27,816	37,745
その他	328,419	326,793
固定負債合計	9,901,043	5,749,809
負債合計	23,400,056	24,581,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,218	3,240,218
資本剰余金	3,254,597	3,254,597
利益剰余金	627,344	636,963
自己株式	3,882	3,870
株主資本合計	7,118,277	7,127,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,866	6,097
評価・換算差額等合計	5,866	6,097
少数株主持分	88	79
純資産合計	7,112,499	7,121,890
負債純資産合計	30,512,555	31,703,794

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
売上高	25,875,146	24,526,991
売上原価	19,063,133	17,914,039
売上総利益	6,812,012	6,612,951
販売費及び一般管理費	6,788,499	6,432,581
営業利益	23,513	180,370
営業外収益		
受取利息	7,239	6,094
受取地代家賃	38,716	38,935
受取手数料	41,922	28,855
その他	11,545	12,252
営業外収益合計	99,424	86,137
営業外費用		
支払利息	122,898	127,261
賃貸費用	15,025	16,408
シンジケートローン手数料	-	74,923
その他	12,720	4,300
営業外費用合計	150,644	222,894
経常利益又は経常損失()	27,706	43,613
特別利益		
固定資産売却益	5,000	-
貸倒引当金戻入額	300	300
店舗閉鎖損失引当金戻入額	68,329	-
債務保証損失引当金戻入額	2,364	1,763
償却債権取立益	-	3,825
ポイント引当金戻入額	110,917	-
特別利益合計	186,910	5,888
特別損失		
固定資産除却損	917	3,480
投資有価証券評価損	-	3,825
店舗閉鎖損失	19,078	-
役員退職慰労金	-	28,245
店舗閉鎖損失引当金繰入額	143	-
減損損失	1,118	-
特別損失合計	21,257	35,550
税金等調整前四半期純利益	137,946	13,951
法人税、住民税及び事業税	31,159	23,264
法人税等調整額	-	297
法人税等合計	31,159	23,562
少数株主利益	13	8
四半期純利益又は四半期純損失()	106,773	9,619

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年5月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年8月20日)
売上高	13,006,974	12,730,291
売上原価	9,524,933	9,281,263
売上総利益	3,482,041	3,449,027
販売費及び一般管理費	3,384,407	3,153,493
営業利益	97,634	295,534
営業外収益		
受取利息	3,763	3,131
受取地家賃	21,800	19,690
受取手数料	22,615	14,404
その他	3,299	8,221
営業外収益合計	51,479	45,448
営業外費用		
支払利息	57,430	62,760
賃貸費用	7,463	8,198
その他	3,846	2,713
営業外費用合計	68,741	73,671
経常利益	80,372	267,311
特別利益		
貸倒引当金戻入額	150	150
店舗閉鎖損失引当金戻入額	186	-
債務保証損失引当金戻入額	1,214	897
償却債権取立益	-	3,825
ポイント引当金戻入額	110,917	-
特別利益合計	112,467	4,872
特別損失		
固定資産除却損	652	3,480
投資有価証券評価損	-	325
店舗閉鎖損失	19,078	-
特別損失合計	19,730	3,805
税金等調整前四半期純利益	173,109	268,377
法人税、住民税及び事業税	14,091	11,635
法人税等調整額	-	155
法人税等合計	14,091	11,791
少数株主利益	6	5
四半期純利益	159,012	256,581

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,946	13,951
減価償却費	368,971	360,665
減損損失	1,118	-
のれん償却額	17,147	17,147
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,429	300
賞与引当金の増減額(は減少)	8,883	2,083
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	2,364	1,763
退職給付引当金の増減額(は減少)	36,408	34,655
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,984	68,204
ポイント引当金の増減額(は減少)	108,159	3,650
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	114,637	12,355
投資有価証券評価損益(は益)	-	3,825
有形固定資産除却損	917	2,488
受取利息及び受取配当金	9,191	8,573
支払利息	122,898	127,261
固定資産売却損益(は益)	5,000	-
売上債権の増減額(は増加)	78,244	55,645
たな卸資産の増減額(は増加)	256,439	791,028
仕入債務の増減額(は減少)	699,161	1,344,645
その他	75,308	257,174
小計	1,408,158	284,778
利息及び配当金の受取額	6,749	6,123
利息の支払額	121,968	118,557
法人税等の支払額	53,517	46,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,239,422	443,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	198,827	144,495
有形固定資産の売却による収入	5,000	-
有形固定資産の除却による支出	100	-
無形固定資産の取得による支出	6,548	820
貸付けによる支出	660	2,020
貸付金の回収による収入	84,171	92,009
差入保証金の差入による支出	3,605	3,945
差入保証金の回収による収入	185,768	57,677
その他	2,689	2,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,508	3,641

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	440,000	3,970,000
長期借入れによる収入	-	5,800,000
長期借入金の返済による支出	850,296	1,276,512
自己株式の取得による支出	224	11
配当金の支払額	32,142	25
その他	-	74,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,322,663	478,527
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	20,732	31,446
現金及び現金同等物の期首残高	838,099	902,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	817,366	934,358

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)

当社グループは、ホームセンター事業の売上高、営業利益の金額が全セグメントの売上高合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)

海外売上高はないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)

該当事項はありません。